



CHAPTER 5

スタンドアロン デバイスからの Cisco MXE 3500 のアップグレード



注意

アップグレードを行う前に、保管するすべてのファイルをコピーし、Cisco MXE 3500 以外の場所に保存することを推奨します。

この項では、次のトピックを扱います。

- 「アップグレードのガイドライン」(P.5-1)
- 「スタンドアロン デバイスから Resource Manager デバイスへの Cisco MXE 3500 のアップグレード」(P.5-1)
- 「スタンドアロン デバイスから Resource Node デバイスへの Cisco MXE 3500 のアップグレード」(P.5-6)
- 「既存の Resource Manager 展開への新しい Resource Node の追加」(P.5-11)

アップグレードのガイドライン

アップグレードを行う前に、次のガイドラインを検討します。

- アップグレードを行う前に、ローカルに保管されたすべてのソース コンテンツを、Cisco MXE 3500 以外の場所に保存します。
- Cisco MXE 3500 を元のデバイス タイプに戻す場合は、デバイス上でソフトウェア リカバリを実行する必要があります。スタンドアロン デバイスまたは Resource Manager デバイスに戻す場合は、元のライセンスを再インストールする必要があります。「Cisco MXE 3500 のリカバリ」(P.7-1) も参照してください。
- アップグレードを行う前に、元のライセンスを Cisco MXE 3500 以外の場所に保存します。このライセンスは、Cisco MXE 3500 を元の デバイス タイプに戻した場合に、スタンドアロン デバイスまたは Resource Manager デバイス上で機能を再度有効にするために必要となります。

スタンドアロン デバイスから Resource Manager デバイスへの Cisco MXE 3500 のアップグレード

この項では、次のトピックを扱います。

- 「アップグレードの準備」(P.5-2)

- 「Resource Manager へのアップグレード用のライセンスの入手」(P.5-3)
- 「Resource Manager デバイスのアップグレード」(P.5-3)
- 「Resource Manager アップグレード設定の完了」(P.5-5)

アップグレードの準備



(注)

スタンドアロン展開と Resource Manager 展開の設定の違いを確認します。「Resource Manager 展開に関するガイドライン」(P.2-2) も参照してください。

システムのアップグレードを行う前に、デバイス上のジョブ プロファイル、ライセンス ファイル、およびコンテンツをバックアップすることが重要です。アップグレードの準備を行うには、表 5-1 の作業を実行します。

表 5-1 スタンドアロン展開から Resource Manager 展開へのアップグレードの準備作業

バックアップの対象	作業内容
ジョブ プロファイル	プロファイル ディレクトリを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 プロファイル ディレクトリは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\profiles にあります。
ライセンス ファイル	mxe.lic ファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 ライセンス ファイルは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license\mxe.lic にあります。 (注) Cisco MXE 3500 をスタンドアロン展開に戻す場合は、使用するライセンスをバックアップします。アップグレードプロセスの一部として、Resource Manager デバイスで新しいライセンスを入手してインストールする点に注意してください。
ソース コンテンツ	すべてのウォーターマーク ファイルとビデオ ファイルを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 Cisco MXE 3500 では、ソース コンテンツ ファイルの場所は既定で C:\media ディレクトリに設定されています。
出力コンテンツ	すべてのウォーターマーク ファイルとビデオ ファイルを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 Cisco MXE 3500 では、エンコードされたファイルの場所は C:\output ディレクトリに設定されています。
E メール サーバの設定	(ツールボックスから [Administration] > [System] をクリックして) System Settings Administration ページを開き、次の設定を書き留めます。 <ul style="list-style-type: none"> • Eメールの設定 • SMTP サーバの設定
フォルダ アテンダントの設定	faConfig.xml ファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 faConfig.xml ファイルは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\Folder Attendant\bin にあります。 (注) Cisco MXE 3500 デバイスにあるすべてのウォッチ ディレクトリは、アップグレードプロセスの途中で削除されます。

表 5-1 スタンドアロン展開から Resource Manager 展開へのアップグレードの準備作業 (続き)

バックアップの対象	作業内容
サービス	次の Cisco MXE 3500 の各サービスを開き、システムを実行中の各ユーザ アカウントを確認します。デフォルトの MXE-Service から変更されたアカウントがあった場合は、そのユーザ アカウントの名前を書き留めます。 <ul style="list-style-type: none"> • IIS Admin Service • Mxe CAM • Mxe ECS • Mxe Encoder • Mxe Folder Attendant • Mxe Log Service
Temp ディレクトリ	C:\Temp ディレクトリ内のファイルはすべて破棄されることがあります。Temp ディレクトリ内のすべてのファイルが削除されるのは、よくあるメンテナンスの手順です。
音声文字変換ファイル	すべてのカスタム スピーカ プロファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 スピーカ プロファイルは、C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Nuance\Dragon SDK Server Edition10\Users にあります。
グラフィック オーバーレイ ファイル	すべてのカスタム グラフィック テンプレート、コンテンツ XML スクリプト、および SWF テンプレートを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。これらのファイルは、C:\media\SpeechToTextFiles にあります。

Resource Manager へのアップグレード用のライセンスの入手

スタンドアロン Cisco MXE 3500 を Resource Manager デバイスにアップグレードする場合は、元のライセンスを入手する際に使用したスタンドアロン Cisco MXE 3500 と同じ MAC アドレスを使用する必要があります。Resource Manager およびその Resource Node の新しいライセンスを入手したら、Resource Manager にライセンスをインストールします。

Resource Manager ライセンスの入手およびライセンスの要件の詳細については、「[Resource Manager のライセンスの取得](#)」(P.2-7) を参照してください。

Resource Manager デバイスのアップグレード

この項では、次のトピックを扱います。

- 「[アップグレード ソフトウェアの入手](#)」(P.5-3)
- 「[Resource Manager へのアップグレードの実行](#)」(P.5-4)

アップグレード ソフトウェアの入手

スタンドアロン Cisco MXE 3500 Release 3.0 設定を Resource Manager 設定または Resource Node 設定にアップグレードするソフトウェアは、1 つのソフトウェア パッケージに含まれています。アップグレードを実行する際に、Cisco MXE 3500 設定をどちらにアップグレードするかを選択します。

作業を開始する前に

ソフトウェアをダウンロードする Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。

手順

-
- ステップ 1 <http://www.cisco.com/public/sw-center/index.shtml> にアクセスし、Cisco.com にログインします。
 - ステップ 2 [Select a Software Product Category] 領域で、[Video, Cable and Content Delivery] を選択します。
 - ステップ 3 [Media Processing] > [Cisco MXE 3500 Software (Media Experience Engine)] を選択します。
 - ステップ 4 [Latest Releases] > [3.0.0] > [MXE 3500 Release 3.0.0 Resource Manager Upgrade] の順にクリックします。ソフトウェアへのリンクは、ブラウザ ウィンドウの右側にあります。
 - ステップ 5 **MXE3K-R3-0-UPG.zip** をフラッシュ ドライブなどの一時メディアに保存するか、アップグレードの際に Cisco MXE 3500 からアクセスできるネットワーク サーバに保存します。
 - ステップ 6 「[Resource Manager へのアップグレードの実行](#)」(P.5-4) の手順に進みます。
-

Resource Manager へのアップグレードの実行

次の手順に従って、スタンドアロン Cisco MXE 3500 Release 3.0 設定を Resource Manager 設定にアップグレードします。

作業を開始する前に

- 「[アップグレードの準備](#)」(P.5-2) の手順の作業を実行します。
- 「[アップグレード ソフトウェアの入手](#)」(P.5-3) の手順の作業を実行します。
- アップグレードする Cisco MXE 3500 で実行中のすべてのアプリケーションを閉じます。

手順

-
- ステップ 1 アップグレードする Cisco MXE 3500 にログインします。
 - ステップ 2 アップグレードの実行元となる新しいフォルダを作成します。この手順では、**C:\Yupgrade** を例として使用します。
 - ステップ 3 [ステップ 2](#) で作成したフォルダに **MXE3K-R3-0-UPG.zip** をコピーします。
 - ステップ 4 [MXE3K-R3-0-UPG.zip] を右クリックし、[Extract All] をクリックします。
 - ステップ 5 [Next] を 2 回クリックします。
 - ステップ 6 [Finish] をクリックします。
 - ステップ 7 コマンドプロンプト ウィンドウを開きます。
 - ステップ 8 コマンドプロンプトで、**cd C:\Yupgrade\MXE3K-R3-0-UPG** と入力して **Upgrade-Patch.bat** と入力します。
 - ステップ 9 コマンドプロンプトで **RM** と入力します。アップグレードプロセスが続行され、完了すると「RM upgrade patch installation complete」(RM アップグレード パッチ インストールが完了しました) というメッセージが表示されます。
- アップグレードプロセスが完了すると、Cisco MXE 3500 に自動的に再起動されることを通知するダイアログボックスが表示されます。クリックや文字入力などの操作をせず、再起動が完了するまで待ちます。これで、ソフトウェア アップグレードが完了しました。

- ステップ 10** Cisco MXE 3500 スタンドアロン設定用の元のライセンス ファイル (mxe.lic) を C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license (デフォルトのファイル名およびインストール先) にインストールした場合は、アップグレードプロセスで新しいフォルダが作成され、元のライセンスは C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license\OldStandaloneLicense に移動されます。デフォルトのファイル名またはインストール先を変更した場合は、誤操作を防ぐために次の手順を完了する必要があります。
- 現在のスタンドアロン ライセンス ファイルの名前を変更するか、別のフォルダに保存します。
 - Resource Manager にライセンスをインストールする場合は、Resource Manager 設定ライセンス ファイルが、変更したライセンス設定と同じ場所に同じ名前で作成されていることを確認します。
- ステップ 11** 「Resource Manager アップグレード設定の完了」(P.5-5) の手順に進みます。

Resource Manager アップグレード設定の完了

アップグレード設定を完了するには、表 5-2 の作業を実行します。これらの手順を実行すると、Cisco MXE 3500 Resource Manager を使用する準備が完了します。

表 5-2 アップグレードに必要な作業

設定の対象	作業内容
ジョブ プロファイル	Resource Manager デバイス上で、すべてのプロファイルが変更されていないかどうかを確認します。変更されている場合は、バックアップしたプロファイルを C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\profiles にコピーします。 元のジョブ プロファイルの 1 つを使用して、最初にテスト ジョブをいくつか実行することもできます。
ライセンス ファイル	<ol style="list-style-type: none"> Resource Manager ライセンスを入手します。「Resource Manager へのアップグレード用のライセンスの入手」(P.5-3) も参照してください。 Resource Manager ライセンスをインストールします。「Resource Manager へのライセンスのインストール」(P.2-8) も参照してください。 <p>(注) Cisco MXE 3500 を実行するには、ライセンス ファイルが必要です。</p>
E メール サーバの設定	<ol style="list-style-type: none"> 次の資格情報を使用して、Resource Manager デバイス上で UI にログインします。 <ul style="list-style-type: none"> ログイン ユーザ名 : admin パスワード : admin 「Cisco MXE 3500 の Web ユーザ インターフェイスへのアクセス」(P.1-2) も参照してください。 (ツールボックスから [Administration] > [System] をクリックして) System Settings Administration ページを開き、アップグレードの準備の際に書き留めた SMTP サーバと Eメールの情報を確認または修正します。
サービス	すべての Cisco MXE 3500 サービスが「アップグレードの準備」(P.5-2) の手順で書き留めたアカウントで実行されていることを確認します。 (注) MXE サービスには、すべての設定済み UNC パスおよび IIS への読み書き権限が設定されている必要があります。

表 5-2 アップグレードに必要な作業 (続き)

設定の対象	作業内容
フォルダ アテンダントの設定	<p>1. Resource Manager デバイス上で、バックアップしたフォルダ アテンダントの設定ファイル <code>faConfig.xml</code> を、<code>C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\Folder Attendant\bin</code> ディレクトリにコピーします。</p> <p>2. ディレクトリがオンラインで表示されない場合は、Cisco MXE 3500 のフォルダ アテンダント サービスを実行中のユーザ アカウントに、ウォッチ ディレクトリの読み書き権限が設定されているかどうかを確認します。</p> <p>(注) システム上のエンコード プロファイルおよびウォッチ ディレクトリをすべて復元するまで、フォルダ アテンダントが正しく機能しない場合があります。</p> <p>3. ライセンス ファイルとフォルダ アテンダントの設定ファイルをインストールしたら、Cisco MXE 3500 をリブートします。</p> <p>「フォルダ アテンダント ディレクトリおよびウォッチの作成」(P.1-11) も参照してください。</p>
Resource Manager の設定	<p>Resource Manager デバイス上で、Resource Manager 展開のシステム設定およびホスト設定を行います。</p> <p>「管理ツールを使った Resource Manager デバイスの設定」(P.2-10) も参照してください。</p>
ソース コンテンツ	<p>Resource Manager デバイス上のシステム設定入力セクションで設定した UNC パスに、バックアップしたソース コンテンツをコピーします。</p> <p>「[Input] セクション」(P.2-15) も参照してください。</p>
音声文字変換ファイル	<p>すべてのカスタム スピーカ プロファイルを、<code>C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Nuance\Dragon SDK Server Edition10\Users</code> ディレクトリにコピーします。</p>
グラフィック オーバーレイ ファイル	<p>すべてのカスタム グラフィック テンプレート、コンテンツ XML スクリプト、および SWF テンプレートを、<code>C:\media\SpeechToTextFiles</code> にコピーします。</p>

スタンドアロン デバイスから Resource Node デバイスへの Cisco MXE 3500 のアップグレード

この項では、次のトピックを扱います。

- 「アップグレードの準備」(P.5-7)
- 「Resource Node へのアップグレード用のライセンスの入手」(P.5-8)
- 「Resource Node デバイスのアップグレード」(P.5-9)

アップグレードの準備



(注)

スタンドアロン展開と Resource Manager 展開の設定の違いを確認します。「[Resource Manager 展開に関するガイドライン](#)」(P.2-2) も参照してください。

システムのアップグレードを行う前に、デバイス上のジョブ プロファイル、ライセンス ファイル、およびコンテンツをバックアップすることが重要です。アップグレードの準備を行うには、表 5-1 の作業を実行します。

表 5-3 Resource Node スタンドアロン展開から 展開へのアップグレードの準備作業

バックアップの対象	作業内容
ジョブ プロファイル	プロファイルディレクトリを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 プロファイルディレクトリは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\profiles にあります。
ライセンス ファイル	mxe.lic ファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 ライセンス ファイルは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license\mxe.lic にあります。 (注) Cisco MXE 3500 をスタンドアロン展開に戻す場合は、使用するライセンスをバックアップします。Resource Manager デバイス上でこの展開の新しいライセンスを入手し、インストールする必要がある点に注意してください。
ソース コンテンツ	すべてのウォーターマーク ファイルとビデオ ファイルを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 Cisco MXE 3500 では、ソース コンテンツ ファイルの場所は既定で C:\media ディレクトリに設定されています。
出力コンテンツ	すべてのウォーターマーク ファイルとビデオ ファイルを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 Cisco MXE 3500 では、エンコードされたファイルの場所は C:\output ディレクトリに設定されています。
E メール サーバの設定	(ツールボックスから [Administration] > [System] をクリックして) System Settings Administration ページを開き、次の設定を書き留めます。 <ul style="list-style-type: none"> Eメールの設定 SMTP サーバの設定
フォルダ アテンダントの設定	faConfig.xml ファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 faConfig.xml ファイルは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\Folder Attendant\bin にあります。 (注) Cisco MXE 3500 デバイスにあるすべてのウォッチ ディレクトリは、アップグレードプロセスの途中で削除されます。

表 5-3 Resource Node スタンドアロン展開から 展開へのアップグレードの準備作業 (続き)

バックアップの対象	作業内容
サービス	次の Cisco MXE 3500 の各サービスを開き、システムを実行中の各ユーザ アカウントを確認します。デフォルトの MXE-Service から変更されたアカウントがあった場合は、そのユーザ アカウントの名前を書き留めます。 <ul style="list-style-type: none"> • IIS Admin Service • Mxe CAM • Mxe ECS • Mxe Encoder • Mxe Folder Attendant • Mxe Log Service
Temp ディレクトリ	C:\temp ディレクトリ内のファイルはすべて破棄されることがあります。Temp ディレクトリ内のすべてのファイルが削除されるのは、よくあるメンテナンスの手順です。
音声文字変換ファイル	すべてのカスタム スピーカ プロファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 スピーカ プロファイルは、C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Nuance\Dragon SDK Server Edition10\Users\ にあります。
グラフィック オーバーレイ ファイル	すべてのカスタム グラフィック テンプレート、コンテンツ XML スクリプト、および SWF テンプレートを、Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。 これらのファイルは、C:\media\SpeechToTextFiles にあります。

Resource Node へのアップグレード用のライセンスの入手

スタンドアロン Cisco MXE 3500 を Resource Node にアップグレードする場合は、元のライセンスを入手する際に使用した **Resource Manager** デバイスと同じ MAC アドレスを使用する必要があります。新しいライセンスを入手したら、Resource Manager にライセンスをインストールして Resource Node をグループに追加します。

作業を開始する前に

- ライセンス Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。
- Resource Manager デバイスの Cisco MXE 3500 MAC アドレスを入手します。元のライセンスを入手する際に使用した **Resource Manager** デバイスと同じ MAC アドレスを使用する必要があります。「[MAC アドレスの入手](#)」(P.1-3) も参照してください。
- Resource Node の製品認証キー (PAK) を入手します。PAK は、デバイスに付属するソフトウェア ライセンス権利証明書に記載されています。

手順

ステップ 1 <http://www.cisco.com/go/license> にアクセスします。

ステップ 2 Resource Node の PAK を入力します。

- ステップ 3** Resource Manager デバイスを使用して登録 Web サイトにアクセスしている場合は、Enter キーを押します。そうでない場合は、[Submit] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** 画面の指示に従って、プロンプトが表示されたら、Resource Manager デバイスの MAC アドレスを使用します。
- ステップ 5** 登録後、ライセンス ファイルが添付された E メールが送信されます。
- ステップ 6** ライセンス ファイルを保存します。ライセンスにはグループ内の Resource Manager デバイスおよび各 Resource Node に有効なライセンスが含まれているので、このライセンスを Resource Manager デバイスにインストールします。ライセンスのインストールの詳細については、「[Resource Manager へのライセンスのインストール](#)」(P.2-8) を参照してください。



(注) ライセンス ファイルは安全な場所に保存することを推奨します。ライセンス ファイルを紛失すると、再度複製を入手するのに最大 1 営業日かかる場合があります。

Resource Node デバイスのアップグレード

次の手順に従って、Cisco MXE 3500 に Resource Node ソフトウェアをインストールし、新しいライセンスを入手して Resource Manager デバイス上にインストールし、Resource Manager デバイス上に Resource Node を設定します。これらの手順を実行すると、Resource Node を使用する準備が完了します。

作業を開始する前に

- 「[アップグレードの準備](#)」(P.5-7) の手順の作業を実行します。
- 「[Resource Node へのアップグレード用のライセンスの入手](#)」(P.5-8) の手順の作業を実行します。
- 「[アップグレード ソフトウェアの入手](#)」(P.5-3) の手順の作業を実行します。
- アップグレードする Cisco MXE 3500 で実行中のすべてのアプリケーションを閉じます。

手順

- ステップ 1** アップグレードする Cisco MXE 3500 にログインします。
- ステップ 2** アップグレードの実行元となる新しいフォルダを作成します。この手順では、`C:\$upgrade` を例として使用します。
- ステップ 3** [ステップ 2](#) で作成したフォルダに `MXE3K-R3-0-UPG.zip` をコピーします。
- ステップ 4** `[MXE3K-R3-0-UPG.zip]` を右クリックし、`[Extract All]` をクリックします。
- ステップ 5** `[Next]` を 2 回クリックします。
- ステップ 6** `[Finish]` をクリックします。
- ステップ 7** コマンドプロンプト ウィンドウを開きます。
- ステップ 8** コマンドプロンプトで、`cd C:\$upgrade\MXE3K-R3-0-UPG` と入力して `Upgrade-Patch.bat` と入力します。
- ステップ 9** コマンドプロンプトで `RN` と入力します。アップグレードプロセスが続行され、完了すると「`RN upgrade patch installation complete`」(RM アップグレード パッチ インストールが完了しました) というメッセージが表示されます。

アップグレードプロセスが完了すると、Cisco MXE 3500 に自動的に再起動されることを通知するダイアログボックスが表示されます。クリックや文字入力などの操作をせず、再起動が完了するまで待ちます。これで、ソフトウェア アップグレードが完了しました。

Cisco MXE 3500 スタンドアロン設定用の元のライセンス ファイル (mxe.lic) を C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license (デフォルトのファイル名およびインストール先) にインストールした場合は、アップグレードプロセスで新しいフォルダが作成され、元のライセンスは C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license\OldStandaloneLicense に移動されます。デフォルトのファイル名またはインストール先を変更しても、ライセンス ファイルは変更されません。

ステップ 10 Resource Manager にライセンスをインストールし、Resource Manager デバイス上に Resource Node を設定するには、「既存の Resource Manager 展開への新しい Resource Node の追加」(P.5-11) の手順を実行します。

ステップ 11 (オプション) Resource Manager デバイス上にバックアップした Cisco MXE 3500 スタンドアロン設定 (ステップ 10 にインストールしたライセンス ファイルを除く) を使用するには、「Resource Manager アップグレード設定の完了」(P.5-5) の手順を実行します。



(注) スタンドアロン Cisco MXE 3500 用の元のライセンス ファイルの再インストールは行わないでください。

既存の Resource Manager 展開への新しい Resource Node の追加

既存の Resource Manager 展開に Resource Node を追加するには、表 5-4 の手順を実行します。

表 5-4 Resource Node の追加に必要な作業

設定の対象	説明
Resource Node	<p>Resource Manager 展開の新しい Resource Node を準備するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> Resource Node には、出荷時に同じ TCP/IP ホスト名が設定されています。TCP/IP ホスト名をこのデバイスに一意の名前に変更します。 Resource Node は、出荷時に DHCP が有効の状態に設定されています。スタティック IP アドレスを使用する場合は、DHCP を無効にし、このデバイスに IP アドレスを割り当てます。
ライセンス ファイル	<p>(注) 新しいライセンスを依頼する前に、Resource Manager ライセンスの仕組みを確認します。「Resource Manager のライセンスの取得」(P.2-7) も参照してください。</p> <p>既存のライセンス ファイルをバックアップし、新しいライセンスを入手して Resource Manager デバイス上にインストールするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> mxe.lic ファイルを Cisco MXE 3500 以外の場所にコピーします。Cisco MXE 3500 をスタンドアロン展開に戻す場合は、使用するライセンスをバックアップします。 ライセンス ファイルは、C:\Program Files\Cisco\Media Experience Engine\license\mxe.lic にあります。 別の Resource Node を設定できるように、新しい Resource Manager ライセンスを入手します。「Resource Node へのアップグレード用のライセンスの入手」(P.5-8) も参照してください。 Resource Manager デバイスに新しい Resource Manager ライセンスをインストールします。「Resource Manager へのライセンスのインストール」(P.2-8) も参照してください。 <p>(注) Cisco MXE 3500 でこのノードを設定するには、新しいライセンス ファイルが必要です。</p>
Resource Manager	<p>Resource Manager デバイス上でこの Resource Node のホスト設定を行います。「Resource Manager 展開のホスト設定の設定」(P.2-14) も参照してください。</p>

■ 既存の Resource Manager 展開への新しい Resource Node の追加